

JUNKYU MUTO'S WORKS  
**SERIES "CIRCLE WIND"**



PAX2000  
 カステル・ガンドルフォ/  
 バチカン



PAX2001  
 仙台/日本



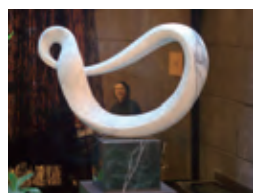
PAX2003  
 ピエトラサンタ/イタリア



PAX2005  
 ブッダガヤ/インド



PAX2008  
 ワイオミング/アメリカ



PAX2011  
 ニューヨーク/アメリカ

～復興を願う～  
**【祈りのモニュメント建立に向けて】**

2011年3月11日14時46分、宮城県沖を震源としたマグニチュード9.0(Mw)、最大震度7を記録する観測史上最大の東北地方太平洋沖地震「東日本大震災」が発生。最大遡上高43.3mにも上る巨大津波を引き起こしたこの地震は、主に岩手・宮城・福島に及ぶ東北3県沿岸部に甚大な被害をもたらし、行方不明者を含め約2万人の尊い人命が喪われました。

喪った家族や友人と別れ、さよならを告げた方々の心。  
 薄れゆく記憶を後世へ伝える、我々に課せられた義務と責任。  
 そして創り出す新たな未来へ向けた希望の象徴…。

そんなすべての想いを込めた復興のシンボル「祈りのモニュメント」が今こそ必要だと考えます。イタリアを制作拠点とする世界的アーティスト「武藤順九」氏のご協力を仰ぎ、始動を遂げた「一般社団法人 東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト(3.11.Monument Project)」は宮城県を中心とする地元企業が一体となり、市民、行政、そして人と人がまさに一体となり、復興プロセスにおける最大の発信都市・石巻市「祈りのモニュメント」設置に向けて活動を展開しております。



「3.11.Monument Project」  
**プロジェクトの背景**

『追悼の気持ちを表す場所』の必要性

行方不明者のご家族など、祈りの拠り所を持たない被災者や、被災地を訪れる直接被災者でない人々が、追悼の気持ちを表し、献花する場所が必要です。

『震災の記憶の伝承』の必要性

震災の記憶を薄れさせずに、後世に伝えていくためには伝達装置となるものが必須です。

『未来へ向かう希望の象徴』の必要性

震災から立ち直り、未来へ向かっていくための人々の希望の象徴となるようなモニュメントが必要です。

東日本大震災の経験、想いを結晶化し、  
**創り出す新たな未来への歩みにつなげる**

「3.11.Monument Project」  
**製作と完成後の展開**

モニュメントの制作は宮城県出身、「みやぎ絆大使」も務めるイタリア在住の世界的アーティスト、武藤順九氏へ依頼。東日本大震災における県内最大の被災地・石巻市(宮城県全体の死者・行方不明者のうち約3割を占める被害)に今後計画される「復興祈念公園(仮称)」への設置を目指しております(2017年彫刻完成、2020年設置)。

また、この度発表された「CIRCLE WIND 2011 ～東日本大震災3.11.慰霊モニュメント～」のモチーフは、幾度か被災地を訪れた氏が故郷の惨状に複雑な思いを抱えていた折、がれきの間から芽吹いていた双葉の光景。「命のはかなさとともに、自然のやさしさ、そして生命の大いなる環のようなものを感じました。今回のモニュメントはそのような小さな一風景から生まれました。」(本人コメントより抜粋)。



武藤 順九  
 (むとうじゅんきゅう)  
 彫刻家・画家

お申込み はがき・FAXフォーム

必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。  
 はがきのほか、FAX、ウェブサイトからお申し込みできます。  
 ホームページ: <http://311monument.org>

当団体へのご寄付は「一般寄付金」扱いとなります。  
 支援金は、当法人が責任をもってモニュメントの建立に充てさせていただきます。  
 事務経費削減のため、ご入金を確認後、受領証の送付によりご登録完了のご連絡とさせていただきます。  
 受領証不要の際は、事務局までご連絡ください。  
 2週間を経過しても連絡がない場合、お手数をおかけしますが事務局までお問い合わせください。

FAXでのお申込みは、切り離し、この面をご送信ください。

**FAX 022-211-4437**

切り取りミシン目

ご支援	ご寄付	円
お振込み 予定日	年	月 日 予定
お振込み 名義	ふりがな	
お名前 (ご担当者)	ふりがな	
法人名	ふりがな	
ご住所	〒	
お電話番号		
e-mail	@	
当団体を何でお知りになりましたか		
ご意見・ご質問、通信欄		